

若狭ネット

第80号 2003年 8月2日

発行：若狭連帯行動ネットワーク
代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！

げんぱつ」連絡会(〒915-0235今立郡今立町不老6-36 山崎方 TEL0778-42-3630) 大阪：日高原
発に反対する大阪の会(〒583-0005藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660)
ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasanf> E-mail wakasa@gaea.ocn.ne.jp

原発被曝労働者の長尾さんの労災認定を勝ち取ろう

「早期労災認定を！」の要望書に賛同してください



被爆58周年原水禁世界大会
「ヒバクを許さないつどい」で
原発労働者の労災認定を勝ち
取る闘いを確認

原発を基幹電源とする日本のエネルギー基本計画

10年後も原発推進でいいのでしょうか？

10月26日の反原子カデーに

大いに話し合い、運動の輪を広げよう！

10・26反原子カデー 反原発討論集会

「これでいいのか

エネルギー基本計画、
脱原発・水素社会を展望する」



日時：10月26日(日)午後 時

場所：ヒューマインド(総合福祉センター JR環状線「芦原橋」駅から徒歩7分)

8月4日からヒロシマ原水禁大会に参加

「核も戦争もない平和な2世紀に！」をメインスローガンにかかげる被爆58周年原水爆禁止世界大会に全国各地から4500名の人々が参加されました。昨年が3500人であったので、現在の危機感が反映し、増えたように思えました。

8月4日の開会総会の基調提案では、「世界に破壊と混乱・不安をもたらすアメリカ・ブッシュ政権、それに追従する日本・小泉政権に対して今こそ平和・核廃絶の闘いが重要となっている。」と、力説されました。また、脱原発、ヒバクシャ救援などの力強い運動を推進しようと提案されました。

5日の分科会「広島・長崎・東海村を結んで、ヒバクを許さない集い」に参加しました。まず初めに、イラクを訪問された森滝春子さんとイラク・バスラ病院のジョナン・ハッサン医師が、湾岸戦争から今年の戦争に至るまでのイラク戦争で劣化ウラン弾という放射能汚染を伴う爆弾が使用され、子どもたちに健康障害や白血病など、深刻な被害が起こっていることを報告されました。劣化ウラン弾の材料には、原発燃料製造から出る核廃棄物（濃縮後の残りかす）が用いられており、戦車などに当たると劣化ウランが高熱でエアロゾルになって飛び散り、人体に吸い込まれると放射線障害を起こすのです。

次に、「原発はごめんだヒロシマ市民の会」の木原省治さんは、「原爆被害地のヒロシマから世界のヒバクシャに対する補償を」と力強く訴えられました。「被爆二世、被爆三世、東海村のヒバクシャ、チェルノブイリのヒバクシャなどなど、この補償要求を勝ち取ることが、核をなくす大きな力にな

ることを意識していきたいし、行動を起こしていきたい」と。

続いて、臨界事故被害者の会の大泉さんからは、JCO東海臨界事故で、作業員2名の方が死亡し、周辺住民の668名がヒバクしたことや、現在裁判で闘っていることが報告されました。

198年まで原発で働いた長尾光明さんは、現在多発性骨髄腫という病気になり、労災認定を要求して闘っていることの報告も受けました。原発内は相当にひどく放射能で汚染され、原発内労働でヒバクさせられた下請け労働者の多くの人々が闇に葬られています。改めて被曝労働の問題を考え、原発被曝労働者を救済する運動を広げていかねばなりません。福島双葉原発反対同盟の石丸小四郎さんから、長尾さんが被曝した福島原発での放射能汚染の実態や原発被曝労働者の労災認定の状況について報告を受けました。

この原水禁大会に参加し、あらためて次のようなことが確認できたと思います。

- ・ 「平和」のためには、先制攻撃「戦争」も許されるという論理はやっぱりおかしい。
- ・ 「平和利用」という美名の中で、原発からヒバクシャを生み出していることもやはり絶対におかしい。

再来年は、原水禁大会も被爆60周年を迎えます。闘いは今から……。

原発を基幹電源とするエネルギー基本計画

政府が今作成中のエネルギー基本計画は、昨年6月に成立した、エネルギー基本法に基づいています。この計画では、今後10年程度を見越して、エネルギー需給に関する施策の考え方を示すものとしています。

しかし、この基本計画では原発を「基幹電源」と位置づけ、原発を推進するというまさに原発を第一義にした基本計画となっています。

原発の新增設については、電力自由化の下では両立しないことを認め、無理矢理手厚い保護政策をとろうとしています。

原発の運転では、「維持基準」を設け、機器にひび割れが起こっても良しとし、耐震設計の基準を無視しようとしています。運転中に阪神・淡路大震災級の直下型地震が起これば、炉心が変形・破壊し、重大事故に至る危険がますます増大します。さらに、原発の経済性を追求するため、定期検査の期間短縮や燃料の高燃焼度化運転も認めようとしています。原発がボロボロになっても大丈夫だと運転を許し、さらに長期連続運転（13ヶ月から15ヶ月）までもおこなおうとしています。ますます重大事故の危険性が増します。危険な原発の運転は止めるほかないのです。

たまり続ける原発の使用済み核燃料について手に負えなくなった電力会社は、経営負担が増大し、電力自由化に対応できないとして、国の責任の明確化と経済支援等を求めています。六ヶ所再処理工場をめぐるには、不良工事による漏洩、高価な再処理費、抽出プルトニウムの問題などまだまだ矛盾を抱えているので、基本計画では、何も書かれていません。再処理工場は闘えば、阻止できます。

高レベル放射性廃棄物の処分場は何処も引き受けるところがありません。危険な核のゴミを何十万年間も管理し続けなければなりません。核のゴミを生み出す原発の運転をやめさせることが大切です。

このようにエネルギー基本計画は、矛盾

に満ちています。新規の原発建設を阻止できる条件は拡大しています。六ヶ所再処理工場についても、矛盾を拡大させることができ、闘えば阻止できます。原発・核燃料サイクル政策反対の運動を強めることが求められています。

これらの問題について、反原子力デーの10月26日に大阪で、10・26反原発デー反原発討論集会「これでいいのかエネルギー基本計画、脱原発・水素社会を展望する」を持ちたいと考えています。ぜひご参加下さい。

また、10月24日（金）の午後6時から、関電交渉を行います。ともに、粘り強く、徹底的に闘いましょう。

（文：若狭ネット 久保）



（下北半島の風力発電）

~~~~~ 今後の予定 ~~~~~

9月7日(日)午後1時半から

## 長尾さんの原発被曝労災の認定を求める阪神地域の集い

場所 尼崎市立中央公民館 ( JR立花駅南東へ徒歩約10分、Tel 06-6482-1750 )

主催 ヒバク反対キャンペーン 原発の危険性を考える宝塚の会、環境と原発を考える会・神戸

9月21日(日)午前10時から

## 東南反核フェスティバル

場所 長居公園 南児童公園 地下鉄「長居」駅下車 徒歩5分

主催 東南反核フェスティバル実行委員会

9月28日(日)午後1時半から4時半

## JCO事故を忘れない! ノーマア・ヒバクシャ! 原発いらない! 市民の集い

場所 ヒューマインド(総合福祉センター JR環状線「芦原橋」駅から徒歩7分)

主催 原発いらない市民の集い実行委員会

10月11日(土)午後2時から(1:30開場)

“チェルノブイリの祈り”の著者

チケット前売り千円

## スベトラーナ・アレクシェービッチ講演会

場所 アピオ大阪小ホール ( JR環状線「森ノ宮」下車すぐ)

連絡 チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西 たなか0797-74-6091

10月24日(金)午後6時より

## 反原子力デー 関電交渉(予定)

場所 関西電力本社前 午後6時集合 (地下鉄「肥後橋」駅下車徒歩5分)

10月26日(日)午後1時より

## 10・26反原子力デー 反原発討論集会

場所 ヒューマインド(総合福祉センター JR環状線「芦原橋」駅から徒歩7分)

連絡先 若狭ネット (0729-39-5660)

編集後記

- ・反原発運動は、放射線ヒバクの恐ろしさを訴えてきた運動でした。労災認定の闘いで亡き岩佐嘉寿幸さんともなかよくしてもらったことを思い出しながら、労災認定で闘う長尾さんを支援したいと思います。

きよ子